

# DENCHHA(デンチャ)に乗って宇美において

第20回JR九州ウォーキングで町中が大賑わい!



地域資源を生かし  
賑わいに溢れた  
宇美町をつくらう

4月13日(土)に町制施行100周年記念イベントとして、第20回JR九州ウォーキングが3年ぶりに宇美町で開かれ、遠くは鹿児島県から、町内外約1,400人が参加され、町は大いに賑わいました。  
今回は、もりおーる(森博多織)やマルト醤油をはじめ、「うみあいす」のKOYASU FARM、焼き立てパンの店ヨシュアツリー、アトリエフラワーキッチン、小林酒造、宇美八幡宮など多くの企業や店舗にご協力をいただきました。  
宇美町には観光資源となる財産がたくさんあります。この財産を生かして、いつも賑わいにあふれた宇美町を実現するために、多くの「声」を集めてきました。

## もりおーるで工場見学と機織り体験 機械は昭和初期から使っているもので一見の価値あり



3月14日からJR香椎線は、新しく蓄電池電車DENCHA(デンチャ)に切り替わりました。音や振動も少なく乗り心地も格段に良くなりました。  
これからはDENCHAに乗って宇美にお越しください。



貴船区に住んでいる島原大宙君も「宇美町のなにか面白いものを見つけたい!」と、お父さんと一緒に参加しました。もりおーるの工場見学で、昔ながらの機織りや糸つむぎの体験に興味津々でした。  
社長の森さんは、宇美町は須恵方面から太宰府へ抜ける通過点でしかない。これからは、立ち寄って楽しんでもらえる町にすることが大切だということで、駐車場を拡張し工場見学を積極的に受け入れておられます。  
また、各種イベントを通じて福岡の伝統工芸品である博多織の魅力アピールしていきたいと語られました。

## ヤギミルクでつくった「うみあいす」 宇美町の新しい特産品に



「福岡よかこビジネスプランコンテスト2018」で大賞を受賞された、ヤギのミルクでつくった「うみあいす」のKOYASU FARMの小林孝昭さんも、宇美公園でアイスクリームとソフトクリームを販売されました。  
宇美公園は中間地点でもあり、参加された方からは、「とっても優しい味で癒される〜!」また、「これまで宇美八幡宮しか来たことがなかったけど、ゆっくり歩いてみると、宇美町は緑が多くて素敵な町ですね」との声も聴けました。

## マルト醤油～宇美駅～宇美八幡宮を 人通りが絶えない賑わいのある「路」に



宇美駅そばのマルト醤油さんも給水所でお茶や飴のサービスを行っていただきました。  
若大将の山本大輔さんは、商工会青年部の新部長にも就任され、これからマルト醤油～宇美駅～宇美八幡宮のルートを入り道にしたい。また、KOYASU FARMさんとのコラボも実現できればと、抱負を語られました。

## 青年団も初参加!

今日の出会いを青年団活動に生かしたい



光正寺古墳の頂上で素敵な景色を見渡しながら。宇美町青年団長の高田さん(右端)は、「議会広報委員会にお誘いいただき、JR九州ウォーキングに初参加しました。宇美町にこんなにも大勢の方が来ていただいている。大変ビックリです。今日の出会いを青年団活動に生かせればと思います。」

博多区の60代の宮原さん(中央)は、「人生で初めて古墳に登り、とても感激しております。」



JR九州ウォーキング初参加の青年団員の寺前さん。宇美八幡宮休息所で5分間悩んだ末に、ころろを決めました。くりとゆずようかんをゲット!

## 宇美町は緑も笑顔もいっぱい

商工会女性部がコーヒーでお出迎え



駅前広場では商工会女性部の皆さんと「しふおんはうすあていん」さんが、コーヒーとケーキでお出迎えです。「宇美町は緑もいっぱい、笑顔もいっぱいですよ!」

## やっぱり福岡の酒は「萬代」やね

小林酒造も大賑わい



飯塚市から来た50代の野中さんご夫婦。まろやかであと味が良い甘酒ゲット!



町のフェイスブックはこちらから

## 生花を通して命の大切さを伝える「花育」活動

アトリエフラワーキッチン



「ようこそ宇美町へー!」と、参加者に元気にお声掛けをいただいているのは、切り花一本から販売しているお花屋さん「アトリエフラワーキッチン」の富永優子さんです。

生花店を経営するかたわら「うみマルシェ」の開催や、「宇美68」の代表として、町の活性化のために活動され、「町を元気にしたい!」がスローガンです。

また、学校のフェスティバル出店やお花の納品等にも携わっております。